

第54回東京都学校歯科保健研究大会 中止の決定について

公益社団法人東京都学校歯科医会

会長 末 高 英 世

東京都学校歯科医会では、新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、情報収集と状況把握に努めた結果、来場者の皆様の安全と健康を第一に考え、令和2年2月27日（木）、文京シビックセンター大ホールにて開催予定の第54回東京都学校歯科保健研究大会を中止することを決定いたしました。現時点で有効な対処法や治療薬がなく先行きが見通せないため、多くの学校関係者や児童・生徒にお集まりいただくこと等を考慮し、リスクを避けることを最重要と判断し、誠に遺憾ではありますが、開催を中止するという苦渋の決断に至りました。

来賓の皆様、学校関係の皆様、後援団体の皆様ほかご来場を楽しみにしていた方々に、多大なるご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ■ 第10回学校歯科保健アジア会議 …………… 2 | ■ コラム「東京都女性歯科医師の会」って！？ …………… 岩立雅子 8 |
| ■ 第83回全国学校歯科保健研究大会 …………… 4 | ■ 地区ニュース …………… 9 |
| ■ 令和元年度 城北地区学校歯科医連絡協議会 …… 5 | 葛飾／麻布赤坂／品川 |
| ■ 令和2年度「東京都学校歯科保健優良校（園）表彰の応募」と「歯の作文募集」に関するご協力のお願い …………… 6 | ■ トピックス …………… 10 |
| ■ コラム「変わりゆく時代の中で」 …河原田倫代 7 | 令和元年度第2回参事会 |
| | ■ 会務報告・訃報 …………… 11 |



The 10th Asian Conference of Oral Health Promotion for School Children (第10回学校歯科保健アジア会議)

第10回学校歯科保健アジア会議が、2019年9月20、21日、インドネシアの森林火災の影響といわれている HAZE（煙害）の空の下、マレーシアのペナン島にて開催され、東京都学校歯科医会からは末高会長、鈴木・長沼両副会長、澤田専務、高橋広報、山室、鈴木、小森、山崎学術担当理事9名が参加し、日本からは私たちを含めて50名ほどが参加した。

この会議は、アジアの子どもたちの口腔保健の発展・向上を目的とし、平成13年、日本学校歯科医会主催の第1回より2年に1回開催され、2年後の第11回会議は東京での開催が予定されている。

今回のペナンの会議には、都学歯の山室理事がシンポジウムで発表し、鈴木あい子理事がポスターセッションで発表したこともあり、主に日本からの発表について報告する。

開会式では、Chief Minister of Penang Malaysia, YAB MR CHOW KON YEOW による挨拶があり、この会議へのマレーシア国のバックアップを感じた。会議は、基調講演、カントリーレポート、全体会議、フォーラム、シンポジウム、ポスター発表で構成されている。

基調講演：Professor Datuk Dr. Khairiyah Abdul Muttalib, SEGI University, Malaysia, により、メインテーマ「Future Smile Begins Today」

の講演がされた。

カントリーレポート：8か国によりされ、日本からは、2日目に、日本学校歯科医会の野村圭介常務理事による「Current Strategy of Oral Health Promotion for Pre School and School Children in Japan」日本学校歯科医会が行っている、学校歯科医生涯研修、専門研修、領域別研修、更新研修等の紹介がされた。

全体会議では4人の発表が、フォーラムでは3人の発表があった。

シンポジウムⅠ：4人の発表があり、3番目に日学歯・国際渉外委員会委員である都学歯の山室直子先生が、演題「School Health Statistical Survey of Japan」を発表した。

要旨：日本には学校歯科医という制度があり、2018年の調査で12歳のDMFTが0.74となり、過去40年間のデータからカリエスが減少していること、歯科治療をきちんと受けていることがわかり、この要因は、フッ化物の普及、砂糖の消費の減少、保健制度、学校給食があること、学校で菓子やジュースを販売していないこと、口腔保健に対する変化が考えられる。また、全国の学校で健診が毎年行われ、そのデータが統計処理され発表されている。学校歯科医は、子供たちの健康増進のために日々研鑽を積



み努力している。

シンポジウムⅡ：4人の発表があり4番目に、日学歯国際渉外委員会委員長である前田隆秀日本大学名誉教授が、「Cultivating The Energy To Go On Living Through An Oral Health Promotion」を発表した。

要旨：日本において子供たちのカリエスはDMF indexが1以下に減少しているが、その要因のひとつが学校歯科医による口腔保健教育にある。学校歯科医の任務は、健康診断において早期のカリエスや歯肉炎等を検出するとともに、それらの疾患の発症や進行のプロセスを理解させ、また、日常の生活習慣、食事、口腔清掃の重要性を教育することである。児童・生徒の口腔保健の育成は、学校歯科医、歯科開業医、地域のコラボレーションにより成功している内容の発表であった。

Poster Session Competition：各国より47演題があり、日本からは愛知県歯科医師会の夫馬吉啓先生が「Effect of early childhood lifestyle on oral function」、医科歯科大学のZar Chi Kyaw Myint先生が「Oral health education with a Peer Group approach model」、都学歯理事の鈴木あい子先生が「Research on School Dental Health in The Tokyo Metropolitan Area」（要旨：東京都学校歯科医会学術研究委員会での中学生、高校生をターゲットにしたアンケート調査から、生徒の口臭についての理解、生活習慣の実態を把握し、学校歯科医が今後学校歯科保健活動行う上で指導のための冊子の作成、有効活用について）の発表、質疑応答が行われた。

Poster Session showcase：各国より37演題があり、静岡短期大学歯科衛生学部准教授の木林美

由紀先生が「Examination of the effect of exercise capacity improvement on 100 m running of Masticatory Ability improvement Program」の発表があった。

1日目：日本学校歯科医会会長招宴

夕食 洋食レストラン32 at the Mansion

日本からの参加者全員で、おいしい洋食をいただいた。

2日目：【Gala Dinner】

主催者から歓迎と感謝の挨拶で夕食会が開会し、友好的な雰囲気の中で各国の関係者と会話が弾んだ。宴の中頃より国ごとのパフォーマンスの発表があり、1番目の日本からは川本日学歯会長の部屋でのオーディションに合格した10数名の踊り手がそろいのストロールをまとい、AKB48のフォーチュンクッキーのダンス、そして2年前の再来、ピコ太郎の登場で会場を盛り上げた。

最終日：バスにてジョージタウンを一部散策、観光後夜便にて帰国した。

今回、初めてアジア会議に参加して、参加国において、日本以外はカリエスの減少を目指した活動の報告がメインであるように思えた。日本は、その制度によりとても恵まれた環境の中にあると思われた。都学歯以外の先生方と交流できたことは自分にとって収穫だった。2年後の東京でのこの会議の開催に向け、準備すべきことが多いと思われた。

東京都学校歯科医会

学術担当理事 山崎 靖





歴史薫る街，山口。明治維新の中心的役割を果たした長州藩の流れを汲む山口には，明治維新ゆかりの史跡が数多くあります。日本三名塔の一つ瑠璃光寺五重塔，県庁の敷地内に建つ旧山口藩庁門は山口藩庁の正門として使われていたものです。著名な出身者には木戸孝允（桂 小五郎），高杉晋作，吉田松陰ら歴史上の人物，岸 信介，佐藤栄作ら総理経験者も多く，山口県からは，伊藤博文初代総理大臣から現職の安倍晋三総理大臣に至るまで全国最多8人の総理大臣を輩出しています。

そんな歴史的にも見所満載な山口県の県庁所在地，山口市は山口市民会館・ホテルかめ福にて令和元年10月17日（木）・18日（金）第83回全国学校歯科保健研究大会は開催されました。「生き抜く力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して，という主題および，「学校歯科保健が拓く新たな時代」という副題の基にプログラムが進行されました。

1日目の17日（木）は，全日本吹奏楽コンクール全国大会金賞受賞校である防府市立桑山中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けました。

開会式では，開会宣言，国歌斉唱，主催者挨拶，来賓祝辞，来賓紹介と進み主催者紹介の後，日本学校歯科医会の川本 強会長より前回開催地である沖縄県歯科医師会の真境名 勉会長へ感謝状が贈呈されました。

続いて第58回全日本学校歯科保健優良校表彰の表彰式が行われました。初めに優秀賞（文部科学大臣賞）が表彰され，受賞7校（園）の中には東京都荒川区立汐入こども園が選ばれました。日本学校歯科医会会長賞，日本歯科医師会会長賞，奨励賞がそれぞれ表彰され受賞校代表謝辞，祝電披露の後，閉会の言葉が述べられました。



特別講演では慶應義塾大学総合政策学部教授の中室牧子先生による「教育に科学的根拠を」と題したご講演がありました。先生のご専門は，経済学の理論や手法を用いて教育を科学的に分析する「教育経済学」で，科学的根拠（エビデンス）に基づくデータをいくつも紹介しながら「人を育てる」時に役立つお話を聞くことができました。中でも子供の勉強への親の関わり方によって子供の成績が違ってくるというのは興味深い内容でした。

15分間の休憩をはさみ「学習指導要領改訂に伴う学校歯科保健における主体的・対話的で深い学びの実現」と題したシンポジウムが行われました。

夜からは場所を移してホテルかめ福にて懇親会が開かれました。

2日目の18日（金）は，朝から2つの会場（山口市民会館，ホテルかめ福），5つの部会に分かれて領域別研究協議会が行われました。

その後の閉会式は，ポスター発表表彰式，大会宣言，次期開催地に決定している福井県の紹介の後，閉会宣言にて幕を閉じました。

東京都学校歯科医会

事業担当理事 西村 健

令和元年度 城北地区学校歯科医連絡協議会報告

北学校歯科医会 中村卓志

令和元年10月31日、北歯科医師会館にて連絡協議会が開催されました。昨年度までの数年間は各地区の活動報告発表を行い、他地区の活動を知ることにより、良いものを取り入れ無駄等を取り除く努力をして地元地区の児童・生徒の為に更なる努力・取り組みをして参りました。昨年の発表を聴くと各地区一定の活動が根付いたように感じられました。今後の更なる進化をするために、原点に戻り学校歯科医の在り方を再確認して、目から鱗の新しい学校歯科医会のテーマを発見するために今回は「学校歯科医あれこれ」と言う演題で東京都学校歯科医会副会長の長沼善美先生にご講演をいただきました。

また、講演に先立ち各地区にお伺いしていた様々な問題点を協議いたしました。

＊通信教育校・学校歯科医不在校等の歯科健康診断について

＊担当校の児童・生徒数のばらつき問題の対応について

＊歯科健康診断時の臨時学校歯科医等について等々

長沼先生の講演は以下の4項目についてでした。非常に為になり我々学校歯科医活動の基本となる考え方・行動様式を教えてくださいました。今後の活動に為になる講演時間でした。

長沼先生の講演概要

＊学校歯科医とは

学校非常勤職員で月に1～2日程度勤務・職務記録を記入する必要があります。

学校保健計画及び学校安全計画の立案に参加、健康相談従事、保健指導に従事すること。

＊学校歯科医関係組織

学校歯科医の周りには学校・教育委員会・学校保健委員会・家庭・地域社会・その他関係機関があります。

我々学校歯科医は学校保健委員会の組織メンバーであり、上記のように学校保健安全計画に参加しなければなりません。

＊学校歯科医の歴史

明治24年に三重県の小学校で口腔検査が行われ学校歯科健康診断の第一歩が踏み出されました。中略で昭和12年東京市学校歯科医会設立、現在に至ります。

＊アクティブラーニングとは

「主体的、対話的で深い学び」の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視して教育をします。

アクティブラーニングの3本柱は自立・協働・創造です。この流れに沿って我々も学校歯科医として歯科講話や歯みがき指導等を行って行く必要があります。



令和2年度 「東京都学校歯科保健優良校（園）表彰の応募」と 「歯の作文募集」に関するご協力をお願い

東京都学校歯科医会では事業の一環として、毎年、国公立の保育所（園）・幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校を対象とした「学校歯科保健優良校（園）」の募集と、小学校・中学校を対象とした「歯の作文」の募集をしています。

学校歯科保健優良校（園）表彰は、毎年春に行われる定期健康診断の結果や学校（園）歯科保健の活動状況を調査票に記入し、東京都学校歯科医会に送っていただきます。送られた調査票を東京都学校歯科医会の審査委員会において、学校（園）歯科保健活動が各学校（園）でどのように取り組まれ、幼児、児童、生徒の歯・口の健康づくりがどのように実践されているかを審査いたします。審査につきましては、う蝕処置率よりも学校（園）歯科保健の活動状況の評価に重点を置くようにしております。また、各学校（園）歯科医の活動内容も評価の対象になる部分があります。

毎年多数の学校（園）に応募していただき、令和元年度は677校（園）の応募をいただきました。優良校（園）は東京都学校歯科保健研究大会で表彰させていただいております。

なお、日本学校歯科医会では国公立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に全日本学校歯科保健優良校表彰を行っています。東京都学校歯科医会では、応募校（園）の中から特に優れた6校（園）を選出し、日本学校歯科医会へ推薦いたします。

この事業の趣旨をご理解いただき、多くの学校（園）に応募されますようお願い申し上げます。

また、「歯の作文」の応募につきましては、学校歯科保健優良校（園）表彰の趣旨と同じく子どもたちの歯・口の健康づくり育成事業の一環としておこなっております。対象学年は小学校では5年、6年、中学校では全学年となっております。

令和元年度の作文応募数は小学校280作品、中

学校174作品となっております。

応募作品は東京都学校歯科医会の審査委員会によって一次審査され、専門家の二次審査へとまわされます。これらの審査を経て選別された優秀作品の中から、小学校部門より一作品、中学校部門より一作品に絞られ、最優秀作品となります。そして、最優秀作品は毎年2月に開催されます東京都学校歯科保健研究大会の席上において、ご本人に朗読していただきます。また、優秀作品は本会ホームページにも掲載させていただきます。

事業内容を充分にご理解いただき、各学校（園）歯科医の先生方におかれましては、担当されている学校（園）を訪問する際に、ご協力いただけるよう学校長、養護教諭等に是非お願いしていただけるよう希望いたします。

「学校歯科保健優良校（園）表彰」応募について

- 対象校 国公立の保育所（園）・幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校
- 応募締切 6月末日までに東京都学校歯科医会へご提出ください。

『歯の作文』募集について

- 対象学年 小学校5年・6年・中学校全学年
 - 募集締切 地区教育委員会は、地区学校歯科医会に7月中旬までにお届けください。地区学校歯科医会は7月末日までに東京都学校歯科医会へご提出ください。
- なお、国立および私立小・中学校は7月末日までに直接東京都学校歯科医会へご提出ください。

東京都学校歯科医会 広報委員会委員 河原田倫代（府中市）

令和元年度より広報委員に任命されました府中市学校歯科医会所属の河原田倫代です。

この度残念なことに、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため東京都学校歯科保健研究大会が中止になりました。この大会では、学校保健優良校や学校歯科保健功労者、また歯の作文、ポスターなどの優秀作品の入選者の表彰や研究発表、特別講演も予定されており、私自身も楽しみにしていたので残念です。特に歯の作文コンクールは、子供たちが自分の歯の健康をどう感じているのかを分かる機会でもあるので、小児歯科専門医の私としては、とても関心がありました。

私自身は、小学生の時に在住していた県の歯科医師会主催で行なわれた「よい歯のコンクール」で、二度の最優秀賞を頂いた経験があります。これは私の父親が歯科医師の娘にむし歯があるのはおかしいと、とても厳しく歯みがきの習慣や飲食をしつけられていたためと感じています。ですから私は小学生になるまで、この世の中に飴やチョコレートなどのお菓子類の存在があることなど知らずに生活しており、また同時に父には定期的にフッ化物塗布もしてもらっていました。その当時は、今のようにおいしい味のものはなく、苦痛でしょうがなかった思い出があります。でも、今ではこのように育てて頂きとても感謝しております。

ただ、このように生活できたのは、私の育った昭和の時代のおかげかもしれません。今のように色んなお菓子や食べ物が溢れている現在では、お菓子を知らずに過ごすなどとは不可能に近いことでしょう。

実際、段々と個々の生活習慣も多種多様になってきたため、私が小児歯科学教室に在局していた約20年前には、個別指導が中心となり母親教室等の集団指導は無くなっていました。

小児歯科専門の私の医院では、初診時に患児



の食生活の状況や刷牙習慣を細かく問診をしています。日本歯科医師会推奨の80歳で20本、所謂「8020運動」は、生まれた時から始まっているからです。その中で最近特に感じる事は様々な情報がありすぎて、親側が何を選んだら良いのか、どうしたら良いのか迷っているケースが増えて来ている点です。歯ブラシやお菓子類の選択もそうです。知りたい事を直ぐに手軽に調べられるけれど、何が正しいのかわからない。これもまた個々によって選択するものが違ますので、きちんと導いていくことの必要性を日々感じる様になりました。

写真は、私が園医をしている健康診断風景です。時には昼食を園児と一緒に頂いたりもしています。こちらの保育園では、今給食の食材がどのような役割があるのかを園児に説明しながら食事をしています。乳幼児の時から食材や食事に関心を持つきっかけにもなるので、とても素晴らしい取り組みだと思います。

よく言われているように体は食べたもので出来ていますし、食生活や習慣が健康にもつながります。むし歯や歯周病に罹患しないようにするためにも日々の食生活や生活習慣には心がけたいものです。

今後、どんな風に食文化や食生活が変化していくのかわかりませんが、まずは「8020」に向けて私自身も微力ながら取り組んで行けたらと思っています。

「東京都女性歯科医師の会」って!?

東京都女性歯科医師の会 総務
東京都学校歯科医会 広報委員会委員

岩立雅子 (葛飾区)

この広報誌をお読みになっている先生方は「東京都女性歯科医師の会」という団体を御存じでしょうか? 今回はこの場をお借りし、この会についてご紹介したいと思います。

東京都女性歯科医師の会は、平成21年、当時すでに活動していた関東6県の女性歯科医師の会と日本歯科医師会から「東京都にもぜひ女性歯科医師の会を」との要望を受け発足した会で、その後11年にわたり、輝ける女性歯科医師を育む事、女性歯科医師のQOLを向上させる事などを目標に年2回の講演会やサマーセミナーを開催しています。さらに、懇親会では大学・歯科医師会・歯科医として診療をしている・いないに関わらず、絆を深め、輪を広げて参りました。現在、会員は300人を超え、発起人である高野博子先生が会長を務めております。

昨年の4月には帝国ホテルにおいて関東女性歯科医師の会全体会と東京都女性歯科医師の会10周年記念大会・祝賀会を併催し、北は北海道から南は福岡まで多くのご来賓の方にお越しいただいたお陰で盛会裏に終わりました。ここでは、その時のミニシンポジウムと東京都女性歯科医師の会の「全国女性歯科医師の会調査委員会」が調査しました内容についてご報告します。

最初のシンポジウムでは、学校法人福岡学園理事長で九州大学医学部名誉教授の水田祥代先生に「きらめきプロジェクト〜12年を振り返って」と題してご講演いただきました。水田先生が立ち上げられた九州大学病院での「きらめきプロジェクト」は、女性医療人の継続就業をサポートし、十分に能力を発揮できるような体制や環境を整えた究極のもので、一開業医にとりましても大変勉強になりました。最後には「自分にとって今何が大事なのかを決め、環境のせいにしたり甘えたりせず、やりたい事を実現化させる強い意志を持ちなさい」と述べられ、身の引き締まる思いがいたしました。

2つ目のシンポジウムでは、日本歯科医師会理事の有松美紀子先生に「日本歯科医師会からこれからの女性会員への提案」と題してご講演いただき、「今後は内閣府および厚労省と関わりを持って男女ともに女性歯科医師支援事業を進め歯科界を活性化していく」というお話を頂き心強く感じました。

また、東京都女性歯科医師の会の「全国女性歯科医師の会調査委員会」が、全国29歯学部同窓会に女性歯科医師サポートプロジェクトに関するアンケートを依頼し、全ての同窓会からご回答いただいた結果を報告しました。

Q1. 全会員に対する女性会員の数

男性74% 女性26%

Q2. 女性会員対応の委員会などはあるか

あり71% なし29%

(活動内容は、委員会を年に数回から6回開催、講演会・懇談会を年1回開催等)



Q3. 大学病院での女性職員、勤務医対策について

①産休育休の延長、父親の育休があるのは

国立大学92% 私立大学69%

②勤務時間短縮、フレックスタイム等があるのは

国立大学75% 私立大学62.5%

③所定外労働の免除などあるのは

国立大学75% 私立大学56%

④託児施設があるのは

国立大学92% 私立大学25%

また、復職支援に繋がる事業や応援プロジェクトについては、私立大学では対応している大学はほぼなく、国立大学は半数以上が対応、病児保育や復職支援のe-learningまで整備されている大学もありました。

今回、簡潔にまとめたアンケート結果を報告しましたが、女性歯科医師の就業環境に国立大学と私立大学で明らかな格差がありました。

学生の半数以上が女性という昨今、女性歯科医師が彼女たちの特性を生かし、地域医療に参画する必要性が高まっていくのは間違いありません。私立大学も教育の一環として女性歯科医師の働く環境に注目し、日本のジェンダーインパクト指数を向上させたいと考えております。

東京都女性歯科医師の会には、他にもユニバーサルサポート委員会、女性ライフエンjoy委員会等あり、講演内容や活動内容は多岐にわたります。参加していただく事で明日からも楽しく頑張ろうと思ってもらえることが目標の会です。

女性だけでなく、男性の先生方もどうぞ覗きにいらしてください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

東京都学校歯科医会は、「東京都女性歯科医師の会」様から例年多数の優秀な委員及び役員をご派遣いただいております。これまでのご尽力に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも、東京都女性歯科医師の会との連携を保ちながら、より一層、学校歯科保健を充実させるべく活動していきたいと考えております。

葛飾区での会員表彰

葛 飾

葛飾区学校歯科医会では、毎年葛飾区長をお迎えして、日本学校歯科医会表彰・東京都学校歯科医会表彰・葛飾区自治功労（保健、衛生功労）表彰・保育園幼稚園嘱託歯科医勤続表彰を受賞された先生方を、12月の吉日にお祝いしております。本年度も、日本学校歯科医会表彰1名、葛飾区自治功労表彰9名、嘱託歯科医勤続表彰9名のお祝い会を盛大に行いました。今



後も、多くの先生が受賞されますようにと思っております。
(飯塚 務)

港区学校歯科医会合同研修会

麻布赤坂

令和元年11月18日（月）に赤坂区民センターにて芝歯科医師会学校歯科医部会と麻布赤坂学校歯科医会の合同研修会が行なわれ、出席者は42人と多数お集まりいただきました。講師には東京都小児総合医療センター小児歯科 医長の方清和先生を招聘しました。小方先生は多摩小児在宅歯科医療連携ネット代表も勤められており、日頃小児医療の最前線で経験されている疾病、特に外傷に関して患者の観察ポイントと症状に合わせた適切な対処方法をご講演いただきました。



そしてこのご講演で特に興味深かった内容は患者の治療はもとより、小児外傷ということで保護者への説明、対応方法まで痒い所に手が届く内容をご紹介いただきました。
(田島一滋)

養護教諭部会と学校歯科医部会との連絡協議会

品 川

令和2年2月20日（木）に品川区「養護教諭部会と学校歯科医部会との連絡協議会」を行いました。この会議は、年に2回（7月、2月）開催されており、第1回は1学期の終わりに定期健康診断の反省、第2回は3学期に次年度の学校歯科保健活動についてなどを中心に情報交換や討議が行われています。文章のやり取りだけでなく、Face to Faceで話し合うことで協調や連携が図れます。その他に、保育課を交えて幼稚園、保育園歯科保健担当者との連絡協議会も行っています。
(丸山進一郎)



令和元年度第2回参事会

令和2年2月6日（木）16時より開催され、長沼副会長の開会、末高会長の挨拶に続き山田善裕東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当課長、柘植紳平日本学校歯科医会副会長、大越壽和東京都歯科医師連盟会長に来賓挨拶をいただきました。

報告と連絡は末高座長のもと、学術報告は山室学術担当理事より、冊子の報告と学術全体会ではグループディスカッション形式の計画をしている事の説明がありました。

事業報告は、澤田専務理事より令和2年度各種大会・研修会日程、箭本理事より学校歯科保健功労者表彰規則、渡邊理事より学校歯科医30年勤続表彰、山崎理事より東京都学校歯科保健推進校（園）助成事業、清水理事より優良校（園）表彰・優秀賞について説明がありました。

高橋文夫理事から第54回東京都学校歯科保健研究大会の説明がありました。また澤田専務理事により令和2年度事業計画（案）の説明があり、予算書（案）の説明と令和2年度会費納入のお願いが箭本理事よりありました。

長沼副会長より交付金等についての報告がありまし



た。

参事の先生方のご質問及び要望は、①就学時健康診断の具体的なガイドラインの提供、②学術委員全体会でのグループディスカッションの内容、③講師等派遣支出の内容、④図画ポスターコンクールの締切、⑤地区における学校歯科医の任期制もしくは輪番制・定年制についての実態調査、⑥ブロック別研修会および旅費交通費について、⑦東京都資料「感染症ひとくち情報」で口腔衛生に関する記載、⑧保育園児に関する情報発信、⑨就学時の健康診断におけるう蝕多発傾向者の事例と分かり易い図示解説の提供等でした。

最後に閉会の辞を長沼副会長が述べられました。

**大切なご家族とクリニックをお守りし
安心と診療に適した基盤づくりをお手伝いさせていただきます。**

良質な情報提供と

最大限メリットを活用した「団体保険」を中心にご案内しております。

ぜひ、皆様の福利厚生の充実にお役立てください。

- ☆ 歯科医師賠償責任保険
- ☆ 所得補償保険
- ☆ GLTD（団体長期障害所得補償保険）
- ☆ 自動車保険、火災保険、賠償責任保険 など
- ☆ 医療保険・がん保険、経営者保険のご相談など受付けております。



資料請求・ご相談・お問合せはこちらから！

ご相談受付デスク 0120-463-176 平日午前10時から午後5時まで

お問合せメールアドレス info@jimhoken.com

生命保険・損害保険代理店

日本保険マネジメント株式会社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-20-7 水道橋西口会館309

TEL 03-6261-5650 平日 10時～17時 FAX 03-6261-5651

会 務 報 告

6/6 (木)	千代田区学校長・園長会 千代田区役所 教育委員会室		10/17 (木) ~ 18 (金)	第83回全国学校歯科保健研究大会 山口県山口市市民会館 ホテルかめ福
	第3回事業部会	会館		
6/13 (木)	第4回理事会	会館	10/24 (木)	東京都養護教諭研究会役員連絡会 会館
6/20 (木)	第1回学術研究小委員会	会館		第7回事業部会 会館
7/4 (木)	第1回参事会	会館	10/31 (木)	第2回学術研究委員会 会館
	参事会交流会 アルカディア「翠」			城北地区学校歯科医連絡協議会
7/11 (木)	第5回理事会	会館		北歯科医師会館
	優良校表彰審査会	会館	11/7 (木)	第8回理事会 会館
	城東地区学校歯科医連絡協議会			ブロック別学校歯科医研修会(多摩ブロッ ク・東久留米) 東久留米市庁舎
7/16 (火) ~ 17 (水)	東武ホテルレバント東京		11/14 ~ 12/12	図画ポスターコンクール受賞作品展示 市ヶ谷駅地下展示コーナー
	島しょ地区学校歯科保健活動サポート 大島		11/14 (木)	図画ポスターコンクール受賞作品展示掲載作 業 市ヶ谷駅地下展示コーナー
7/18 (木)	東京都立高等学校学校保健研究会役員連絡会	会館		学校保健(学校歯科医)研修会 会館 大会議室
	第2回広報委員会	会館		第5回広報委員会 会館
	第4回事業部会	会館	11/21 (木)	歯の作文審査のお礼 千代田区和泉小学校
7/25 (木)	平成31年度健康づくりフォーラム 都庁		11/21 (木) ~ 22 (金)	第69回全国学校保健・安全研究大会 埼玉県さいたま市 大宮ソニックシティ
8/1 (木)	第70回関東甲信越静学校保健大会 歯科職域部 会・懇親会 新潟県アートホテル新潟駅前			学校歯科医協議会 パレスホテル大宮
8/2 (金)	第70回関東甲信越静学校保健大会 新潟県 朱鷺メッセ		12/5 (木)	東京都学校歯科保健推進校(園)助成事業選 定校連絡会 会館
8/8 (木)	東京都学校保健研究会役員連絡会 会館			第3回学術研究委員会 会館
	会計打合せ会 会館		12/12 (木)	図画ポスターコンクール受賞作品展示撤去作 業 市ヶ谷駅地下展示コーナー
	第1回学術研究委員会 会館			日本学校歯科医会学校歯科医生涯研修制度 「更新研修」 会館 大会議室
8/29 (木)	第5回事業部会 会館			第8回事業部会 会館
9/5 (木)	第6回理事会 会館			ライブラリー打合せ 会館
	作文審査会 会館		12/19 (木)	第9回理事会 会館
	第3回広報委員会 会館			東京都教育委員会連絡協議会
9/9 (月)	歯・口の健康啓発標語コンクール(都学歯締切) 図画・ポスターコンクール(都学歯締切)			京王プラザホテル「南園」
9/12 (木)	ブロック別学校歯科医研修会(城南ブロッ ク・荏原) 荏原歯科医師会館			
9/18 (水)	歯・口の健康啓発標語コンクール審査会 会館			
	図画・ポスターコンクール審査会 会館			
9/20 (金) ~ 21 (土)	第10回学校歯科保健アジア会議 マレーシア(ペナン島)			
9/26 (木)	歯の作文2次審査依頼 千代田区立和泉小学校			
10/3 (木)	第1回東京都学校歯科保健功労者表彰選考委 員会 会館			
	第6回事業部会 会館			
	第4回広報委員会 会館			
10/10 (木)	第7回理事会 会館			
	ブロック別学校歯科医研修会(城北ブロッ ク・荒川) 町屋文化センター			
10/17 (木)	会計打合せ 千代田パートナーズ事務所			

【訃 報】

昭 島	瀧澤 昌幸	(昭島市立拝島中学校) R1. 5. 21ご逝去
蒲 田	池田 功	(蒲田区立羽田中学校) R1. 9. 1ご逝去
文 京	太田 修司	(文京区立文林中学校) R1. 9. 22ご逝去
足 立	宮里 好益	(足立区立入谷小学校) R1. 10. 27ご逝去
新 宿	加藤あい子	(新宿区立余丁町小学校) R1. 10. 31ご逝去
江 東	幸阪 保雄	(江東区立平久幼稚園) R1. 12. 1ご逝去
豊 島	成田 典秀	(東京都立千早高等学校) R2. 2. 9ご逝去

上記の先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
致します。(敬称略)

訃報

望月兵衛先生が他界されました。日本学校歯科医会理事・東京都学校歯科医会議長等を
歴任、学校歯科保健に貢献された尊敬すべき学校歯科医でした。令和元年12月17日午前1
時30分静脈瘤破裂で亡くなりました。練馬区学校歯科医会は、12月12日、14日両日とも
に先生と楽しい会話・お酒を酌み交わし、顔色も良く普段の望月先生でした。あまりに急
な悲報に言葉が見つかりません、残念です。

心から哀悼の意を表するとともに、安らかにお休み下さい。

練馬区学校歯科医会 草柳英二



SUNSTAR

こだわりの深化

NEO

医療機関向

臼歯部の
みがきやすさ、
さらに実感！

新発売

バトラーハブラシ #025 NEO(M)(ふつう)
#025 NEO(S)(やわらかめ)

超極薄ヘッド

工

業

界

最

薄

2.5mm

※1

mm

Point 1 狭く磨きにくい部位へもスムーズに届く薄さ2.5mm※1の超薄型ヘッド

Point 2 奥歯にもスムーズに到達する84mmのスリムロングネック

Point 3 菌の繁殖を防止する抗菌コート毛※2 採用

Point 4 従来よりも長く、握りやすい六角形なのでペングリップでも
パームグリップでも持ちやすいハンドル設計

#025 NEO(M)(ふつう) ●毛の長さ/9mm ●毛の太さ/0.19mm
●患者様希望価格/1本300円(税抜価格)



#025 NEO(S)(やわらかめ) ●毛の長さ/9mm ●毛の太さ/0.15mm
●患者様希望価格/1本300円(税抜価格)



商品についてのご質問・ご不明な点は
下記へお問い合わせください。

サンスター株式会社

〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号
TEL/072-682-4733 FAX/072-684-5669

BUTLER

※1 歯科医院で販売するハブラシ内で最薄(2019年6月サンスター調べ)

※2 抗菌部位:毛 抗菌剤:クロルヘキシジン

®登録商標 BUTLER は登録商標です。

YOSHIDA

実際の菌をその場で見る。持ち帰る。

菌はその場で見る時代

バクテリアセルフチェッカー【mil-kin®(見る菌)】

スマホでカンタン！



※画面はイメージです。

見える菌のサイズは1μm以上。セットしてスマホでカンタン拡大。



※スマートフォンは別売りです。

かんたん
3ステップ

採る
口腔内から
サンプリング

載せる
試料ステージに
一滴たらす

見る
見やすい大きさに
スマホで拡大して
サンプルを見る

バクテリアセルフチェッカー

mil-kin®(見る菌) C-Type

体感デモをご希望の方は、お取引先歯科商店様もしくは
最寄りの株式会社ヨシダ営業所までお申し込みください。

販売元：株式会社ヨシダ 東京都台東区上野 7-6-9 TEL.0120-178-148 (コンタクトセンター) <http://www.yoshida-dental.co.jp>